

府老連

きょうと

2022.7
No.173



伊根町老連の囲碁ボール

府内最小の老人クラブですが…

伊根町は日本海に面した人口約2000人足らずの小さな町で、町老連は会員数77名の府内最小の老連です。そうしたなか、月1回、町内の全会員が老人福祉センター「泊泉苑」に集い、健康講座やカラオケ、体操、そして温泉にもつかりながら、クラブ同士の交流を図っています。

スポーツも盛んですが、最近「囲碁ボール」を始めました。みんなで教え合いながら、新しい種目も増えて、毎回“うきうき”しながら楽しんでいます。



会長就任のごあいさつ

(二財) 京都府老人クラブ連合会

会長 橋本 俊次

山々の緑も色濃く、空には夏雲の漂う季節となりました。会員の皆様には、益々ご健勝にてお越しのこととお喜び申し上げます。

日頃は、京都府老人クラブ連合会の運営に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

私、このたび、去る5月に開催されました理事会におきまして、理事の皆様方のご推挙をいただき、はからずも再び、本会の会長を務めさせていただきますことになりました。今さらながらその責任の重大さを痛感しているところであります。

微力ではございますが、役員の方々をはじめ、経験豊かな会員皆様のご協力を賜りながら、本会の更なる発展のために全力を傾注してまいりますので、変わらぬご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、長引くコロナ禍の影響を受け、市町村老連では、約2年半にわたって活動の自粛を余儀なくされ、このため、新規加入者を確保することが難しくなる一方、活動の停滞により、会員の退会やクラブの解散など、極めて厳しい状況が続きました。

こうしたなか、府老連の会員数は、4,518名の大幅減となり、9.4%の減少率は、府老連始まって以来の過去最大の減少となりました。危機的な状況の中で、クラブの解散・退会の防止に全力を挙げ、会員数を減らさない取組が最重点の課題となっています。

新型コロナウイルスもようやく落ち着きつつあり、会員皆様の意識も徐々にウィズコロナ・アフターコロナへと移りつつあります。

府老連としては、コロナ禍を理由に安易に事業の自粛や中止を選択しないよう、また、活動の停滞や気力の低下を招くことがないよう、「感染防止と健康維持の両立」をめざした取組を呼びかけてまいります。

コロナ禍の収束が見えない時節柄ではありますが、これまで同様、感染予防を講じながら、人と人との交流の機会を増やし、健康寿命を延ばして「人生100年時代」を楽しく元気に過しましょう。最後になりましたが、各市町村老連の益々のご発展と会員皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。私のごあいさつとさせていただきます。

市町村老連 会長

・宇治市	武藤 守	・宇治田原町	垣内 秋弘	・久御山町	惠 達男	・木津川市	柳田 正廣	・八幡市	小山 文明	・向日市	中田 正紀	・長岡京市	上崎 勝彦	・城陽市	安田 行雄
・和束町	岡田 勇	・井手町	河本 保	・京田辺市	兔本 久和	・精華町	鈴木 圭吾	・南丹市	林 昭	・南山城村	奥谷 善巳	・福知山市	松本 和徳	・綾部市	田中 丈夫
・笠置町	西岡 良祐	・京丹波町	中澤 義久	・亀岡市	田中 昭	・宇治市	上田 秀男	・舞鶴市	新谷 一幸	・京丹波市	橋本 俊次	・宮津市	森口 茂樹	・伊根町	藤原 一彦
・宇治市	武藤 守	・宇治田原町	垣内 秋弘	・久御山町	惠 達男	・木津川市	柳田 正廣	・八幡市	小山 文明	・向日市	中田 正紀	・長岡京市	上崎 勝彦	・城陽市	安田 行雄

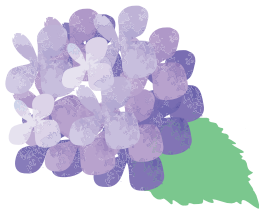
府老連報告

府老連新役員体制

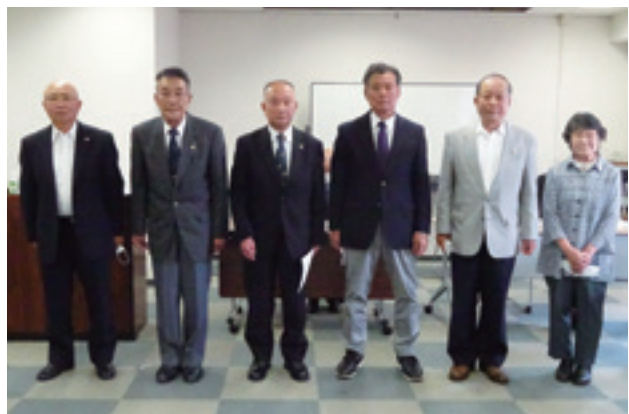
監事	理事	常務理事	副会長	会長
岩本 正明 (与謝野町)	今堀 正嗣 (長岡京市)	中川 剛 (事務局長)	柳田 正廣 (京田辺市)	橋本 俊次 (宮津市)
塩見 康郎 (福知山市)	武藤 守 (宇治市)	安田 行雄 (城陽市)	林 昭 (亀岡市)	
	小山 文明 (八幡市)	岡田 勇 (和束町)	森口 茂樹 (京丹後市)	
	松本 和徳 (福知山市)	大田 俊樹 (綾部市)	井手口 温美 (亀岡市)	
	中澤 義久 (南丹市)		大道 俊樹 (綾部市)	
	宇治タカ子 (城陽市)			
	渋谷又ミ子 (京田辺市)			
	中川百合子 (木津川市)			
	小和田宏子 (舞鶴市)			
	岩永 英光 (長岡京市)			
	西林千代美 (八幡市)			
	田中 健 (木津川市)			
	齊藤 正剛 (宮津市)			

評議員

上崎 勝彦 (向日市)	中田 正紀 (長岡京市)	垣内 秋弘 (宇治田原町)	村田 正行 (井手町)	兎本 久和 (木津川市)	大江 喜次 (福知山市)	田中 丈夫 (綾部市)	上田 秀男 (京丹波町)	村尾 昌治 (舞鶴市)	糸井 満雄 (与謝野町)	加藤 久子 (長岡京市)	末光 和子 (八幡市)	奥仲真智子 (南山城村)	笠浪 信江 (南丹市)	梅田 重子 (京丹後市)	岡 孝昭 (久御山町)	藤井 重博 (京田辺市)	相浦清市郎 (南山城村)	伊豆田藤吉郎 (亀岡市)	井上 正則 (与謝野町)
----------------	-----------------	------------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------



第178回 理事会 (5月17日)



新正副会長 第179回 理事会 (5月31日)

令和3年度 府老連収支決算書

(収入の部)

科目	決算額	附記
財産収益	1,047	利息
分担金	6,280,800	補助クラブ 976クラブ 非補助クラブ 66クラブ
補助金等	14,429,000	京都府補助金
広告料	160,000	機関紙広告
雑収入	59,803	図書斡旋手数料、会員章販売 他
収入計④	20,930,650	

(支出の部)

単位：円

科目	会計区分	決算額	附記
事業費	事業会計	16,151,007	老人クラブ大会、健康づくり、相互支援リーダー研修、広報一般活動、職員給与
	組織強化	557,423	会員増強運動
管理費	法人会計	3,306,940	役員会議費、事務局運営費、光熱水費 他
支出計⑤		20,015,370	

(収支差額)

当期収支差額	915,280	収入④ - 支出⑤
正味財産期末残高	34,826,898	前年度繰越金33,981,618 + (当期差額915,280 - 法人税70,000)
正味財産増加額	845,280	期末残高 - 前年度繰越金

令和4年度
事業計画

I メインテーマ

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

- 〈健康寿命〉 ○健康寿命を伸ばし、自立した生活、生きがいのある生活の実現を目指します。
○仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。
- 〈地域づくり〉 ○他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりを目指します。
○元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。



亀岡市千代田区中老人クラブ
「趣味の作品作り」



II 基本方針

京都府老人クラブ連合会は、1,050クラブ、約48,000会員を擁する高齢者を代表する組織として、一人ひとりの生きがいと健康長寿をめざして「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動をはじめとする多様な活動を推進する。

特に、「人生100年時代」を迎える中、高齢者同士が共に支え合う「友愛活動」を一層推進するとともに、「仲間づくり」の輪を広げる「会員増強運動」を展開する。

また、介護保険制度における「新地域支援事業」への参画など、行政や関係団体と連携・協力しながら、高齢者が安心して暮らせる地域づくりにむけて、社会的役割を果たしていくこととする。

III 事業の重点

① 全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」の活動を基本として、引き続き「健康づくり・生きがいづくり・仲間づくり・地域づくり」の活動を積極的に推進する。

② 「老人クラブ10,000人会員増強運動」（平成26年度から5カ年）等の取組をとおして会員増強の気運は盛り上がり、各地域では創意工夫ある取り組みが実施されてきた。

これからも、会員減少の大きな要因である単位老人クラブの解散・退会の防止に全力を挙げるとともに、趣味の会やサークル活動を核とした新しいクラブの立ち上げなど、さらなる「会員増強運動」を展開することとする。

運動にあたっては、5カ年の総括で提起した「5つの実践目標」に努める。

③ 人生100年時代を見据えて「高齢者の最大の目標は健康！」を大きな柱に掲げ、会員や一般高齢者を対象に、



八幡市足立会
「うさぎ公園の花壇づくり」

府老連報告

健康づくりの輪をさらに広げていく。

このため、スポーツをはじめ、サロン等の介護予防活動を積極的に支援する。

④ これからは疾病予防と併せて高齢者の生活機能の低下を防ぐ「フレイル（虚弱）予防」の活動に向けて、「体力測定」や「健康チェック」の普及など、高齢者が参加しやすいプログラムの実現を図る。

⑤ 高齢者の孤独死とともに、「高齢者を狙った「特殊詐欺」等の高齢消費者被害を防止するため、市町村老連が行う友愛訪問の見守り・相互支援の活動を支援し、地域の「絆」を一層強めていく取り組みを促進する。

⑥ 府内のすべての市町村で実施されている「新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」に呼応し、老人クラブがこれまで行ってきた友愛活動など、高齢者の暮らしを支える多様な生活支援、多様な通いの場づくりをすすめていく。

⑦ 女性委員会においては、女性リーダーの育成と市町村相互の交流を深めるため、「ブロック別女性リーダー研修会」を開催する。



丹後ブロック
グラウンドゴルフ大会

換し、魅力ある活動と組織の強化を目指す。
また、女性委員会を中心に「いきいきクラブ体操」の普及を図る。

⑧ 若手委員会においては、若手リーダーの育成と会員同士の交流を深めるため、「若手リーダー研修会」を開催する。

また、これまで取り組んできた「公式ワナゲ」の普及に加え、新たなニュースポーツや健康マージャン、趣味の活動など、会員のニーズに対応した様々な活動について検討を進め、会員の加入促進に努める。

⑨ 世代間交流や子どもの見守り、子育て支援の活動など、「安心・安全のまちづくり活動」を社会福祉協議会や民生児童委員会等と連携・協働して推進する。

特に、市町村老連の発展には、行政当局の理解と支援が不可欠であることから、府や市町村において定期的な「行政懇談会」を実施する。
⑩ 仲間づくりの輪を広げるためには、多くの高齢者に老人クラブの活動を知ってもらう必要がある。

このため、府老連や市町村老連による機関紙等の発行をはじめ、市町村や社会福祉協議会等の広報媒体への情報提供やPRなど、**わかりやすく親しみやすい広報活動**を展開する。

⑪ 事業の展開にあたっては、府老連の役職員が市町村老連に出向き、組織や活動の強化を支援するとともに、**府老連と市町村間の交流をさらに進める**など、一層の連携を図る。

令和4年度 府老連収支予算書

(収入の部)

科 目	予算額	附 記
財産収益	600	利息 等
分 担 金	6,312,300	補助クラブ 981クラブ 非補助クラブ 66クラブ
補助金等	14,165,000	京都府補助金
広 告 料	250,000	機関紙広告
雑 収 入	80,100	会員章販売 他
収入計④	20,808,000	

(支出の部)

科 目	会計区分	予算額	附 記
事 業 費	事業会計	16,742,000	老人クラブ大会、健康づくり、相互支援 リーダー研修、広報一般活動、職員給与
	組織強化	513,000	会員増強運動
管 理 費	法人会計	3,357,000	役員会議費、事務局運営費、光熱水費 他
支出計⑤		20,612,000	

(収支差額)

当期収支差額	196,000	収入④ - 支出⑤
正味財産期首残高	34,826,898	前年度からの繰越金

単位：円

令和4年度 主要事業日程

月	日	府老連関係	開催地	日	全老連関係	開催地
4	25日(月)	女性委員会総会	京都市			
	27日(水)	近畿老人クラブ連絡協議会	和歌山県			
	28日(木)	若手委員会総会	京都市			
5	11日(水)	監事会	京都市			
	17日(火)	第178回理事会	京都市			
	31日(火)	第74回評議員会(役員改選)	京都市			
		第179回理事会(新理事会)	京都市			
6	24日(金)	市町村新会長・事務局会議	京都市	16日(木)	評議員会	東京都
	30日(木)	近畿ブロック老人クラブリーダー研修会	大阪市			
7	20日(水)	市町村老連リーダー研修会	京都市	26日(火)	全国事務局長会議	東京都
8						
9	14日(水)	丹後ブロック女性リーダー研修会	舞鶴市			
	15日(木)	「老人の日」「老人週間～21(水)」	全国一斉			
	20日(火)	「社会奉仕の日」	全国一斉			
	29日(木)	山城ブロック女性リーダー研修会	神戸方面			
10	4日(火)	丹波ブロック女性リーダー研修会	亀岡市			
	13日(木)	第43回京都府老人クラブ大会	京都市			
11				8日(火)	全老連設立60周年記念 全国老人クラブ大会	東京都 (国技館)
				12日(土) ～15(火)	第34回全国健康 福祉祭かながわ大会	神奈川県
12	2日(金)	若手委員会リーダー研修会	八幡市	1日(木)	高齢者の健康づくり・ 生活支援セミナー	東京都
	16日(金)	第180回理事会	京都市	～2(金)		
1						
2	15日(水)	市町村老連会長・事務局会議	京都市	2日(木)	全国会長等代表者	東京都
	未定	近畿老人クラブ連絡協議会	兵庫県	～3(金)	会議	
3	15日(水)	第181回理事会	京都市	14日(火)	評議員会	東京都

※令和5年度 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会(兵庫県) 未定 ※令和6年度:京都市
 第35回全国健康福祉祭えひめ大会(愛媛県) 令和5年10月28日(土)～31日(火)
 第52回全国老人クラブ大会(秋田県) 令和5年11月8日(水)～9日(木)

コロナ禍のなか、会員数が大きく減少

～ クラブ解散の防止に全力を挙げ、新たな取組を ～

長引くコロナ禍の影響を受け、各市町村老連では活動の自粛等により、新規加入者を確保することが難しくなる一方、クラブの解散や老連からの脱会など、厳しい状況が続いてきました。

こうした中、会員数は、4,518名、9.4%の大幅な減となり、京都府老連始まって以来の過去最大の減少となりました。

府老連では、危機的な状況と受け止め、クラブの解散・退会がこれ以上拡大・波及しないよう、「今後の対応策」を今年度中に取りまとめたいと考えています。

まずは、大幅な減少となった要因や課題を探るための「アンケート調査」をはじめ、該各市町村老連への「原因分析・現地支援」を進め、一方、クラブの新設や復活、市町村老連への再加入などにつなげた「成功事例」を普及したいと考えます。

また、今回の厳しい状況を踏まえ、単位クラブの負担を少しでも軽減し、会員増強につなげていただくために「分担金の値下げ」を行うこととしています。

コロナ禍の収束が見えない中ではありますが、安易に事業を自粛・中止することのないよう、また、活動の停滞を招くことのないように、これまで同様「感染防止」と「健康維持」の両立をめざした活動の展開を呼びかけてまいります。

府老連では、入会案内のパンフレットを作成しました。地域の募集チラシと併せて、どしどし活用してください。



市町村別 クラブ数・会員数増減（令和3年～令和4年）

（令和4年4月1日現在）

市町村	単位クラブ数			会員数（人）		
	令和3年	令和4年	増△減	令和3年	令和4年	増△減
宇治市	56	53	△3	2,381	2,215	△166
城陽市	66	66	0	3,565	3,437	△128
向日市	27	27	0	1,063	1,024	△39
長岡京市	50	49	△1	2,565	2,454	△111
八幡市	59	54	△5	4,082	3,787	△295
京田辺市	62	62	0	3,205	3,060	△145
木津川市	89	87	△2	3,576	3,314	△262
大山崎町	5	5	0	175	140	△35
久御山町	30	29	△1	1,843	1,778	△65
井手町	18	13	△5	1,544	1,249	△295
宇治田原町	23	23	0	1,234	1,179	△55
笠置町	9	9	0	527	523	△4
和束町	14	14	0	942	881	△61
精華町	27	27	0	1,922	1,835	△87
南山城村	9	9	0	645	603	△42
山城ブロック計	544	527	△17	29,269	27,479	△1,790
福知山市	112	108	△4	4,499	4,189	△310
綾部市	52	47	△5	2,462	2,183	△279
亀岡市	48	38	△10	2,105	1,728	△377
南丹市	81	60	△21	2,761	2,001	△760
京丹波町	30	22	△8	841	591	△250
丹波ブロック計	323	275	△48	12,668	10,692	△1,976
舞鶴市	37	34	△3	1,612	1,453	△159
宮津市	27	24	△3	1,007	911	△96
京丹後市	78	72	△6	1,688	1,469	△219
伊根町	8	6	△2	83	77	△6
与謝野町	31	27	△4	1,710	1,438	△272
丹後ブロック計	181	163	△18	6,100	5,348	△752
合計	1,048	965	△83	48,037	43,519	△4,518

老人クラブ・会員数の推移

（各年4月1日現在）

年度	老人クラブ数(クラブ)	会員数(人)
平成9年	1,729	96,119
23年	1,407 △32	75,032 △2,739
24年	1,364 △43	71,884 △3,148
25年	1,336 △28	69,974 △1,910
26年	1,271 △65	65,469 △4,505
27年	1,252 △19	63,996 △1,473
28年	1,221 △31	61,374 △2,622
29年	1,203 △18	59,144 △2,230
30年	1,150 △53	55,940 △3,204
令和元年	1,131 △19	54,221 △1,719
2年	1,083 △48	50,974 △3,247
3年	1,048 △35	48,037 △2,937
4年	965 △83	43,519 △4,518

「女性委員会」・「若手委員会」の新体制がスタート!

ハートピア京都において、4月25日に女性委員会及び4月28日に若手委員会の「総会」が開催されました。総会では、令和4年度の事業計画と新しい役員が決定され、新たな体制がスタートしました。

女性委員会 新役員

委員長 井手口温美 (亀岡市)
副委員長 宇治タカ子 (城陽市)

常任委員

渋谷スミ子 (京田辺市)
中川百合子 (木津川市)
小和田宏子 (舞鶴市)
加藤 久子 (長岡京市)
末光 和子 (八幡市)
奥仲真智子 (南山城村)
笠浪 信江 (南丹市)
梅田 重子 (京丹後市)



女性委員会 新役員

若手委員会 新役員

委員長 大道 俊樹 (綾部市)
副委員長 岩永 英光 (長岡京市)

常任委員

西林千代美 (八幡市)
田中 健 (木津川市)
齊藤 正剛 (宮津市)
岡 孝昭 (久御山町)
藤井 重博 (京田辺市)
相浦清市郎 (南山城村)
伊豆田藤吉郎 (亀岡市)
井上 正則 (与謝野町)



若手委員会 新役員

令和4年度 女性委員会事業計画

1 事業方針 〓男女共同参画のクラブづくり〓

- ① 老連役員への積極的な参画
- ② 大会や研修会等への女性の参加を拡大
- ③ 一般高齢者への参加呼びかけ
- ④ 友愛活動、地域見守り活動の推進
- ⑤ 高齢消費者被害防止活動の推進
- ⑥ いきいきクラブ体操の普及

2 常任委員会 随時 (年3回)

3 ブロック別女性リーダー研修会の開催

〓山城ブロック

日時 9月29日 (木)

内容 バスによる研修視察 (神戸市)

〓丹波ブロック

日時 10月4日 (火)

会場 ガレリアかめおか

〓丹後ブロック

日時 9月14日 (水)

会場 舞鶴市中総合会館

4 老人クラブ会員増強運動の推進

令和4年度 若手委員会事業計画

1 事業方針 〓魅力ある老人クラブづくりと組織の強化〓

- ① 老連役員への積極的な参画
- ② 各市町村老連「若手部」の組織化
- ③ 若手会員の大会や研修会等への参加を拡大
- ④ 若手高齢者の加入促進
- ⑤ 友愛活動、地域見守り活動の推進
- ⑥ 「ニュースポーツ」の普及・促進
- ⑦ 高齢者の体力測定の実施・促進

2 常任委員会 随時 (年3回)

3 若手リーダー研修会

日時 12月2日 (金)

内容 「ボッチャ交流試合とニュースポーツ体験」

会場 八幡市民体育館

4 老人クラブ会員増強運動の推進

令和4年度
近畿ブロック

老人クラブリーダー研修会

～コロナ後を見つめて、新たな老人クラブ活動の展開を～



根垣さんの事例発表

午前の部

開会式に引き続き、全老連河野参事から、老人クラブの現状と課題について「基調報告」がありました。

続いて、おもしろ旅企画ヒラタ屋代表の平田進也氏から「生涯青春、いくつになっても人生楽しもう」と題して講演がありました。

先生は、数多くのテレビ番組にも出演され、「ナニワのカリスマ添乗員」として活躍。40年にわたる添乗をとおして、「心の持ち方次第でいつまでも青春、楽しい思い出をつくり、いくつになっても人生を楽しみましょう」と、ユーモアを交えて話され、終始会場は笑いにつつまれました。

コロナ禍で中断し、3年ぶりの開催となる近畿ブロックリーダー研修会が、6月30日、大阪府社会福祉会館で開催されました。近畿地区から198名、府老連からは19名（男性11名、女性8名）が参加しました。「コロナ後の新たな老人クラブ活動」を見据えて、各府県の取組事例が発表されました。

事例発表の要旨（福知山市老連）

■コロナ禍の中、つながりを第一に

コロナ禍では、多くの高齢者が家に閉じこもりがちになり、会員と単位クラブのつながりが途切れがちになります。

そうならないよう、「つながり」を最大の目標にして取り組みました。

■「タオル1枚運動」でつながりを

- ①会員同士のつながりを維持し、
- ②社会に貢献できることは・・・と考え、タオル1枚運動を復活することにしました。

全会員に呼びかけたところ、市民にも運動が広がり、約2,000枚のタオルが集まりました。

また「古切手」27,100枚「テレホンカード」313枚、「ペットボトルのキャップ」50袋（45ℓ袋）が集まりました。

これらは、市内の介護施設や共同作業所、社協等に届け、皆さんに喜んでいただきました。

■コロナ後のこれから

3年目を迎えた with コロナの生活。福知山でも今までにない人数が感染し、高齢者の感染も増えました。

コロナ禍の時だからこそ、活動を中断するのではなく、感染予防に注意しながら、「高齢者の孤立」を防止し、「支え合って生活」することの原点を会員のみんなで確認することができました。さらに、活動を続けていきたいと思います。

（福知山市老連 根垣万里子）

午後の部

午後は4つの分科会に分かれて討議がありました。第2分科会「つながりを絶やさない友愛活動の推進」では、福知山市老連の根垣万里子福祉友愛部長が「在宅を支える相互支援事業」私たちに出来ること」と題して事例発表を行いました。

また、「ICT（情報通信）」を活用した活動」の第4分科会では、与謝野町老連の井上正則さんが座長を務めました。

2年ぶりの開催とあって、いずれの分科会も活発な意見交換がなされ、都道府県間の交流も深められました。

来年度は兵庫県で開催されます。



座長の井上さん



市町村老連だより

京丹波町老連

会長 上田 秀男

京丹波町 人口 13,205人
クラブ数 22
会員数 591人
65歳以上加入率 10%



役員のみなさん

■旧3町が合併

京丹波町老連は、平成17年に旧3町が合併して誕生しました。旧丹波町・瑞穂町・和知町の3町はそれぞれ地域の歴史と特性が異なることから、旧町を支部として事務局を残し、それぞれ特色ある活動を行っています。

■会員数の減少が続くなか

京丹波町は、山間地域に集落が点在し、また、高齢化率は44%（和知地区では50%）を超え、府内で有数の高齢化が進んだ地域です。こうした状況もあり、会員数は年々減少し、令和3年度末には、8クラブが脱会して22クラブとなり、会員数は29%減と、大きく減少してしまいました。そうした中、令和4年度には、上田

秀男会長が新たに就任。最初の役員会では「老人クラブでの楽しみは？」「減少を食い止めるためには？」など、改めて老人クラブの意義を確認し、今後の対応策をさっそく協議しました。

■解散クラブの復活に向けて

「活性化委員会」を立ち上げ会員増強策を検討してきたところですが、とりわけ、山間地域での公共交通の不便さから、町老連の事業に参加できない人をどう支援していくかが大きな課題となっています。

町老連だけの対応には限界があるため、町役場や社会福祉協議会とともに、オール京丹波町で対応していく枠組みづくりを模索しています。

新しい役員体制のもと、機関紙を発行するなど、まずは老人クラブ活動を広くPRして、会員増強やクラブ間の交流を図っていききたいと思っています。（事務局 山崎）



久御山町シニア連

会長 恵 達男

久御山町 人口 15,555人
クラブ数 29
会員数 1,778人
65歳以上加入率 36%



■旅行に行った気分!!

令和3年度は、コロナ禍により親睦旅行や会食が難しかったため「旅行に行った気分になろう!」と題して「世界の絶景DVD」鑑賞会を開催しました。

前座として、津田女性委員長による腹話術とマジックショーを披露。役場コンベンションホールのスクリーンで鑑賞し、音響もよく環境は万全。

日本各地の土産と缶ビール、お茶などの土産を参加者へ渡し、まさに旅行気分が味わえると大好評でした。旅行が開催できる環境になっても、DVD鑑賞会は続けたいと思います。

■若手・女性の合同奉仕活動

若手委員を募集しても役を持たせられると勘違いされメンバーが集まら

なかったもので、今年度から、本部役員（正副会長以下9名）がまず若手委員として活動することにしました。最近、老人福祉センターの駐車場や通路に落ち葉や草が多く歩きにくいとの苦情が。このため、若手委員では、歩道の落ち葉拾いや、草引き、花壇の花植えなどを行う活動を早速計画することになりました。

■理事の負担軽減対策

シニア連では、年間12回理事会を開催し、各事業の日程調整や企画運営を進めてきました。

令和3年度からは、理事の負担を軽減するため、企画運営等は役員会でを行い、理事へは決定事項、懸案事項を書面で報告することにしました。理事に負担がかかることのないよう、役員会と理事会の役割を分担して、会議の効率化も図っています。（事務局 成瀬）



「世界の絶景」鑑賞会



「津田女性委員長のショー」

悪徳商法・詐欺が高齢者を狙っています！

～「京都府消費生活安全センター」からのお知らせ～

■消費生活センターとは…

消費生活センターは、地方公共団体が設置する行政機関です。

京都府内全市町村に「消費生活相談窓口」が設置されており、事業者に対する消費者の苦情や相談対応、消費者啓発活動や生活に関する情報提供などを、中立公正な立場で行っています。

■高齢者の消費者トラブルの特徴

悪質事業者は高齢者の不安3K、「お金の不安」、「健康の不安」、「孤独の不安」を狙っています。

一方、高齢者は、情にもろく、優しい言葉で誘う人を信じ込むなど、騙されたことに気付きにくい傾向があります。また、被害に遭っても「恥ずかしい。」「知られたくない。」と思って、相談しない傾向があります。

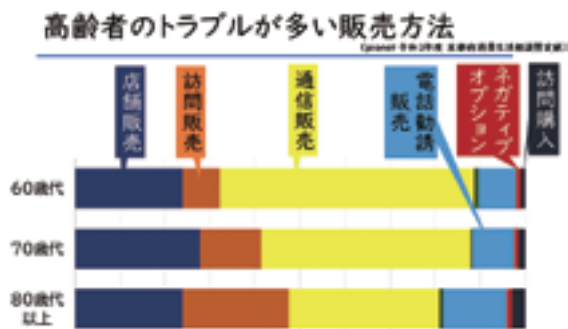
高齢者の不安3K



■高齢者に多い消費者トラブル

下図は、昨年度、京都府内の消費生活相談窓口に寄せられた相談件数の暫定値を販売方法別にグラフにしたものです。

60歳代以上から寄せられる相談は「通信販売」が最も多く、年齢が上がるにつれて「訪問販売」や「電話勧誘販売」が多くなっています。



○「通信販売」では、テレビショッピングで購入した商品の返品条件が思っていた内容と違っていたり、スマートフォンなどで見つけた商品をお試し1回限りと思って申し込んだら定期購入だった等のトラブルが多いです。通信販売には特定商取引法によるクーリング・オフ制度の適用がありませんので、注文時には返品条件をよく確認してください。

○「訪問販売」や「電話勧誘販売」では、トイレの調子が悪く、見積もりのつもりで呼んだ事業者からその場で契約を迫られて契約してしまい、広告などの表示額より高額な金額を請求される等、その場で判断が難しい契約を強引に勧誘されるケースが目立ちます。訪問販売や電話勧誘販売で契約をした場合は、クーリング・オフができる場合があります。

■トラブルに遭わないために

消費者トラブルは人ごとではありません。自分は大丈夫と思い込まず、日頃からいろいろな消費者トラブルについて知っておきましょう。また、高齢者のトラブルを防ぐには、周囲の方の見守りも重要です。不審な電話を受けた時の対処方法や、どこに相談するのかなどを周囲の人と話し合っておきましょう。家の固定電話には、通話記録装置や迷惑電話対策機能付きの電話機を使ったり、留守番電話の設定にしておくことも有効です。

不安に思った場合やトラブルになった場合は、できるだけ早く最寄りの「消費生活相談窓口」に相談してください。

困ったときには相談を！
消費者ホットライン
TEL 188番
(局番なし)
お近くの消費生活相談窓口につながります

京都府消費生活安全センター
平日9時～16時
075-671-0004

いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。

〔資料請求受付期間〕【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

傷害保険 自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)

- ①対象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
- ②保険始期月および保険期間：年に2回の募集となります。

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
10月	7月15日～9月15日まで	10月1日午後4時から1年間
4月	1月15日～3月15日まで	4月1日午後4時から1年間

- ③補償範囲・掛金タイプ：◆24時間型…日常生活全般のケガを補償(新型コロナウイルスを含む※特定感染症危険補償特約付)。自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償、熱中症危険補償が付いたタイプもあります。
- ◆活動型…老人クラブ活動中のケガを補償

賠償責任保険 他人の物を壊したり、ケガをさせた時^{*1}の保険。(自分のケガは対象になりません。)

^{*1} 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

- ①対象：単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ②保険期間：毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④補償：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30から12:00まで
13:00から17:00まで (土、日、祝祭日、年末年始除く)

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談

先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/>

老人クラブ保険

検索

メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL 03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL 03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】

老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ賠償責任保険】

施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」(概要)「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2022年3月作成 21-TC11211

創造と連帯のシンボル 輝く会員章をあなたの胸に!

会員章には
ピン止め式とタック式の
2種類があります



1,000円

全老連創立60周年を記念した
会員証もあります
(タック式のみ)



1,000円

お申込みは、所属の市町村老連、または府老連まで

府老連

2022. No. 173

きょうと

令和4年7月発行 発行人 橋本 俊次

発行 (一財) 京都府老人クラブ連合会
(愛称: きらりクラブ京都)

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
京都府立総合社会福祉会館
(ハートピア京都) 8階

TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956

E-mail: mail@k-furouren.or.jp

URL: <http://www.k-furouren.or.jp>



きらっ都くん

編集後記

コロナ禍が3年目となるなか、新年度がはじまりました。今年度は役員改選があり、正副会長さんはじめ、女性委員会・若手委員会など、新しい役員体制がスタートしました。引き続き感染防止に注意しながら、ポストコロナを見据えて、令和4年度の事業計画を着実に実行したいと考えます。

特に、会員数がかつてない大幅な減少となる中、クラブの解散がこれ以上拡大・波及しないよう、その防止に全力を挙げることが喫緊の課題であります。

課題解決に向け、これからも市町村老連はじめ会員皆様との連携を一層強めてまいります。(事務局)